

第1回 嘉麻市子ども・子育て支援会議 会議録

1. 審議会等の名称 第1回嘉麻市子ども・子育て支援会議
2. 開催日時 令和5年7月31日（月）19時00分～
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁 5階 5A会議室
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
6. 出席者
 - (1) 委員
会長 垂見 直樹
副会長 佐竹 正利
委員 春口 勇介、齊藤 由子、永水 秀明、原田 留美子、石井 直彦
深見 隆行、井上 久仁香、大滝 知幸、赤間 秀人
(欠席：亀川 千尋)
 - (2) 執行機関
こども育成課 課長 廣谷 友紀、課長補佐 山本 和代
課長補佐 洞ノ上 敦、保育総務係長 内山 優子
保育総務係 瓜生 花織
子育て支援課 課長 柴田 きよみ、課長補佐 永島 祐樹
家庭・教育相談支援係長 橋本 多恵
7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人
8. 議題及び審議の内容
 - 開会
 - 副市長挨拶
 - 会長、副会長の互選について
推薦により会長に垂見直樹委員、事務局の提案により副会長に佐竹正利委員が出席
委員全員の了承を得て決定する。
 - 会長、副会長挨拶
 - 諮問
 - 委員自己紹介
 - 事務局職員自己紹介
 - 議事

【議 題】

 - (1) 「嘉麻市こども計画（仮称）」策定に係る各種調査等について
 - (2) 災害対応について
 - (3) 嘉麻市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度実施状況について

(4) その他

【審議の内容】

(1) 「嘉麻市こども計画（仮称）」策定に係る各種調査等について

事務局から資料1により説明し、質疑応答を行った。

(委員) 「子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査」の対象に7年生～9年生の児童の保護者がいないのはなぜか。「子どもの生活状況調査」の対象に就学前の子どもと保護者がいないのはなぜか。

(事務局) どちらも国の定める調査対象と合わせている。「子どもの生活状況調査」については、国の定めでは小学5年生と中学2年生が対象となっているが、嘉麻市においては児童数が少ないため、国の実施要項を遵守のうえ、前後学年の児童生徒も調査対象とする。

(会長) 前回の調査の際には施設あるいは学校を通してという形で回答の回収を行い、高い回収率となった。今回オンラインでの回答を含めると少し回答率が下がるのではないかと懸念されるため、どう対応するか今後議論すると良いかと思う。

(事務局) 保護者はデジタル機器の操作やオンラインでのやり取りに慣れていていると考えられることから、オンラインでの回答も可能とすることで「回答してみよう」と思われる方がいることを期待している。

(2) 災害対応について

事務局から資料2により説明し、質疑応答を行った。

(委員) 臨時休園措置の判断基準は近隣市町村と足並みをそろえたものか、嘉麻市独自の基準なのか。

(事務局) 嘉麻市独自のもの。策定の要請を受けた際に国が示した先進的な事例を参考にしつつ、嘉麻市で基準を定めた。

(委員) 飯塚市、桂川町、田川市など、近隣市町村の判断基準は調査されたか。されている場合は提示してほしい。

(事務局) 現段階で把握していないため、調査のうえ次回の会議で報告をする。

(3) 嘉麻市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度実施状況について

事務局から資料3により説明し、質疑応答を行った。

(委員) 子育て短期支援事業について、事業開始からこれまで利用者が少なかったが、令和3年度と令和4年度に利用者が増えたということで、何かあったときに預けられる環境がやはり必要であると思った。

嘉麻市には病児保育施設がなく、飯塚市、桂川町、嘉麻市の連携により飯塚市の二施設を利用することができるが、距離がある。病院に働きかけをしてもらうな

ど、嘉麻市内に病児保育施設を作るように進めてもらいたい。

(事務局) これまでも小児科のある病院と話をしてきたが、条件等が合致せず実施には至っていない。引き続き病院に伺い、状況等を確認しながら病児保育の実現に向けて検討していきたい。

(会 長) ファミリー・サポート・センター事業は今後も事業を実施しないのか。

(事務局) 第二期子ども・子育て支援事業計画の量の見込みにはニーズ調査を基に数値をあげているが、実人数は1名であるため、希望者の少ない事業にどれだけの公金を使いながらサービスを提供するべきなのかという点で判断に迷っている。近隣市町村では特定の人利用が多く、サービスが広く行き渡らずに特定の人のためのサービスとなっているという職員の声を聞くことがあり、現状嘉麻市ではサービスの開始は難しいと思われる。

(会 長) この事業については周知の問題があり、そもそも事業自体を知らず、内容がわからないことからニーズが上がってこない状況があるのではないかという話がある。そうした事業についても今回の調査でそのニーズがどれくらい掘り起こせるのかにもかかるのだろうと思う。

(4) その他

- ・資料4にて令和4年度第1回会議の資料2に対する意見への市の見解を記載している。
 - ・子育てガイドブック令和5年度版を配布している。
 - ・次回の日程は調査委託業者の出席を予定している。日程は決まり次第通知する。
- 以上を説明のうえ、質疑応答を行った。

(委 員) 今後の会議では調査項目を策定していく必要があるが、こういった内容になる予定か。

(事務局) 前期との比較も必要なため、基本的にはこれまでの内容を再度調査し、どれくらいの変化があるのか確認することになる。それ以外にこれまでの実績等を受けて尋ねたいことがあれば、反映していきたいと考えているため、会議で様々な意見を出してほしい。

(委 員) 前回の調査結果を資料として提示してもらうことは可能か。

(事務局) 前回の調査結果が明記している冊子を次回配布する。

9. 閉会

10. 配布資料

○会議次第

○委員名簿

○資料1 嘉麻市こども計画(仮称)について

○資料2 災害時における嘉麻市内認可保育施設等の臨時休園措置の判断基準

- 資料3 子ども・子育て支援事業の令和4年度の実績について
- 資料4 令和4年度第1回会議資料2に対するご意見について
- 資料5 子育てガイドブック令和5年度版